

コード	403040102
記入日	H23.5.30

課コード	108
課名	まちづくり推進課
課長名	田本 耕一
担当者	坂下 幸喜

# 事務事業途中評価表

作成年度	平成 23 年度
------	----------

評価対象事業名称	ふれ愛らんど管理運営費
----------	-------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 ー 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	4	政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保	款コード	7
施策コード	403	施策名称	商工業の振興	項コード	1
基本事業コード	40304	基本事業名称	観光商業の振興	目コード	1
事務事業コード	4030401	事務事業名称	振興公社費	細目コード	139
関連計画	法令・条例規則等		新上五島町新魚目ふれ愛ランド条例及び施行規則		

## 計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*\*とする。

対象：誰、何を対象しているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 利用者		(対象指標1)	10,623人(H22実績)			
(対象2)		(対象指標2)				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・指定管理制度を用いて、ふれ愛らんどの管理運営を(財)新上五島町振興公社に委託している。 →指定管理料 5,834千円 →営業収入額 5,628千円	*****	*****	*****	営業日数+営業予定日数	*****
営業日数		319日	100%		平成22年度	
①		(達成率分析)	計画どおりの営業日数で営業した。			
*****		*****	*****	*****	保守点検回数+保守点検予定回数	*****
保守点検回数	2回	100%		平成22年度		
②	(達成率分析)	計画どおり実施した。				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
・バンガローを始めとする屋外宿泊施設や、各種遊具などの整備により、町内外からの観光・レジャー客の受け入れや、親子の憩いの場を提供する。これにより、地域の交流や観光客の増加が図られる。		*****	*****	*****	利用者数10,623人+(営業収入+指定管理料)相当分年間利用者	*****
	利用者数	10,623人	81.7%		平成22年度	
	①	(達成率分析)	利用者数を前年度を参考に13,000人と計画していたが、前年度より減少した。これは、施設の老朽化による宿泊客の減少や施設の充実が足りないものと思われる。			
	*****	*****	*****	*****	営業収入額5,628千円+指定管理料5,834千円	*****
営業収入額	5,628千円	96.5%		平成22年度		
②	(達成率分析)	営業収入5,623千円に対し、指定管理料が5,834千円がかかっており、結果211千円指定管理料が上回ったかたちとなっている。				

## 実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		21年度以前	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 日	1,288	1,288	969	319	319				
	②									
成果指標	① 人	50,845	48,468	37,845	13,000	10,623				
	② 千円	18,940	18,940	13,312	5,628	5,628				
総事業費 C (A+B)	千円	41,998	41,998	35,464	6,534	6,534				
直接事業費 A	千円	37,798	37,798	31,964	5,834	5,834				
人件費 B	千円	4,200	4,200	3,500	700	700				
内訳	従事職員数	人	0.6	0.6	0.5	0.1	0.1			
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起債	千円								
	その他	千円								
一般財源	千円	41,998	41,998	35,464	6,534	6,534				

**評価**

※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	・町が税金を投入して行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	自然豊かな五島のイメージにマッチした観光施設であるとともに、町内の親子の憩いの場として貴重な施設である。
	・時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	高齢化や利用者の減少により閉鎖する施設が多い中、この施設は児童・幼児が楽しめる本格的な施設である。
	・事業の対象・目的は適切ですか。	●適切 ●不適切	理由	特に観光客が増加する夏時期には多数の島外者が利用し、本町のイメージアップに貢献している。
有効性	・現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	●いる ●いない	理由	施設の老朽化により、使用できない施設がある。
	・成果を向上させる余地はありますか。	●ある ●ない	理由	利用可能な施設の修繕と企画によっては、利用者は増加する余地はある。
	・事業を行わない場合の影響はありますか。	●ある ●ない	理由	観光客の減少や子供たちの憩いの場がなくなる。
	・類似事業との整理統合はできませんか。	●できる ●できない	理由	有川青少年旅行村・高井旅口グハウス等との一元管理も可能。
効率性	・直接事業費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	すでに海のふるさと館も削減している。
	・人件費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	最小の人員で行っており削減できない。
	・受益者負担は適正ですか。	●はい ●いいえ	理由	条例に沿っており、適正である。

**改善**

改善策	1次評価	妥当性	平成22年度の宿泊施設と保養センターの民営化に伴い、振興公社全体の運営形態等の見直しが必要である。
		有効性	平成22年度の宿泊施設と保養センターの民営化に伴い、振興公社全体の運営形態等の見直しが必要である。
		効率性	平成22年度の宿泊施設と保養センターの民営化に伴い、振興公社全体の運営形態等の見直しが必要である。
		課題に向けた改善策	平成22年度の宿泊施設と保養センターの民営化に伴い、振興公社全体の運営形態等の見直しが必要である。
	2次評価	妥当性	振興公社の運営形態の見直しが必要となるが、施設の運営管理は引き続き実施する。
		有効性	夏場の利用率を向上させる方策の検討が必要であることと、施設の老朽化は客離れに結びつくので維持管理を適正に行うこと。また、補修等は計画的に実施すること。
		効率性	利用率を高めつつ、施設の維持・管理経費については節減に努めること。

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次	
	●			このまま事業を継続
		●		事業内容を見直して事業を継続
				事業費を見直して事業を継続
	1次	2次	3次	
				類似事業と整理統合
				事業の休止
				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。